

# かじき図書館だより

平成28年度  
2月号  
TEL 62-2605

## 館内展示



○風邪やアレルギー対策に関する本  
食事や食生活を少し見直すだけでも、免疫力を上げて予防することができます。そこで、風邪やウイルスに負けない身体づくりを応援する本を取り揃えました。今季は病に負けず乗り切りたいですね。

## おはなし会のお知らせ

日時：2月25日(毎月第4土曜日)  
10時30分～  
絵本やわらべうた、手あそびうたで一緒に楽しいひと時を過ごしませんか！



## ○眺めているだけでも甘～いスイーツ



2月14日は『バレンタイン』、15日は『お菓子の日』と甘党には嬉しい月です。ちょっと作ってみたいくなる、お菓子の本を紹介します。

## ○冬の絵本・季節の絵本(節分)



『ゆきみちさんぽ』  
えがしら みちこ  
(講談社)

おすすめの一冊  
雪の日のお散歩  
で出会ったのは  
雪の日が楽しい  
なる一冊です。

## 第156回 芥川賞&直木賞 決定!

芥川賞

『しんせかい』  
山下澄人(新潮社)

直木賞

『蜜蜂と遠雷』  
恩田陸(幻冬舎)

貸出中の際はご予約もできます。お気軽にどうぞ!

## ○新着図書を紹介

### ----- 一般書 -----

- \*たまちゃんのおつかい便
- \*十二人の死にたい子どもたち
- \*室町無頼
- \*また、桜の国で
- \*未到-奇跡の一年
- \*わたしたちの猫
- \*働く男
- \*笑って、泣いて、考えて。
- \*庭と暮らせば
- \*作家のお菓子
- \*池上彰の君たちと考えるこれからのこと
- \*戦地の図書館
- \*スマホ断食

- 森沢 明夫
- 沖方 丁
- 垣根 涼介
- 須賀 しのぶ
- 岡崎 慎司
- 文月 悠光
- 星野 源
- 永 六輔
- 松田 行弘
- コーナ・ブックス編集部編
- 池上 彰
- モリー・グブティル・マニング
- 藤原 智美

- \*一日だけうさぎ
- \*たまたまたヌキ
- \*いのちのはな
- \*おならおばけ
- \*石黒くんに春は来ない
- \*心をはぐぐむてのひら名作えほん
- \*にっぽんのおかず
- \*深海のふしぎ
- \*ぼくたちのおばけ沼「ひとりぼっち」の友情物語
- \*かがみのサーカス
- \*あかちゃんのいちにち

### ----- 児童書 -----

- 原 知子
- 内田 麟太郎
- のぶみ
- かとう まふみ
- 武田 綾乃
- 西東社編集部
- 白央 篤司
- ワン・ステップ編
- 中村 淳
- わたなべ ちなつ
- リチャード・ダンワース

### ----- 乳幼児向け -----

## あいらよかとこ

### 五老峰

加治木弥勒交差点から見える採石場はみなさんよくご存じですね。かつては、ここに五つのこぶ山があり五老峰と呼ばれていました。その五老峰について「加治木風土記」には、次のように書かれています。  
「五つの嶺が起伏して連なっている山を、五老峰と呼ぶ。そのもっとも南にある峰を、岩ノ嶽または湯湾嶽ともいう。この山は二つの峯に分かれ、それより北北西にある峯を中嶽といい、その北にある峯を烏帽子嶽、その北にある峯を猫ヶ嶽とって、標高189メートルある。五老峰の周囲は約4キロあり、岩ノ嶽の上には高さ10メートル余り、周囲15メートル余りの大きな岩石があって、矢石と呼んでいる。  
往時桜島から大根を船に積んで加治木に藁と交換に来ていたが、船はこの五老峰を目標にして進めて来たという。歌人と謝野晶子がこの五老峰を『加治木なる五つの峰の波形の 女めくこそあわれなりけり』と詠んでいるが、五老峰のうち岩ノ嶽は、昭和23年からの砕石事業が始められて、山形を変え、赤茶けた岩肌が露出し、美しかった湯湾嶽の景観は損ねており、ふるさとの山河をこよなく愛している数多くの者たちをして、嘆かせている。」

↑参考資料「加治木風土記」加治木町老人クラブ連合会

## 2月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

☆25日・・・おはなし会



始良市立図書館ホームページ  
(<http://lib-aira.jp/>)  
でも図書館の情報を発信しています。